

実験動物飼育箱の洗浄剤

ケージクリーナー

# CAGE-CLEANER



clean chemical co.,

# CAGE-CLEANER

ケージクリーナー

## ■実験動物への安全性を追求しました。

○兎による皮膚一次刺激性試験(第O S 25020130号)

○マウスによる急性毒性試験 (第O S 24120278号)

財団法人 日本食品分析センター

(日本科学飼料協会・科学飼料研究センターでの  
試験結果により非常に安全性の高い洗浄剤です。)

## ■腐蝕及び変色はありません。

## ■抜群の洗浄力です。

## ■廃液の問題は有機酸主剤ですので、 その心配はありません。

### 使用方法

頑固な汚れ……原液を5～10分漬けてブラッシングして下さい。

通常の汚れ……20倍程度に希釈して2～3時間漬けて下さい。

### 使用上の注意

- 使用時は防護メガネ及びゴム手袋を着用する。
- 金属器具、FRP樹脂の長時間浸漬では変色する場合があります。  
各種素材は多様ですので予め試験をしてからご使用下さい。
- 目に入った場合は、直ちに流水で15分以上水洗し(眼球とまぶたの隅々までよく洗う)、  
医師の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水で洗い流す。異常を感じるならば、  
医師の処置を受ける。
- 誤飲した場合は、口の中を水で洗い、多量の水または牛乳を飲む。  
無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。
- 本品を床面に流出した場合は、直ちに除去し、よく水洗して下さい。
- 本品は酸性です。排出の際は、大量の水に希釈して排出するか、  
アルカリ性物質で中和後、多くの水と共に排出する。
- 蓋を閉め、直射日光を避け、子供の手の届かない場所に保管する。
- 次亜塩素酸ナトリウムなどの塩素系洗剤・薬品と混合すると  
有毒ガスが発生するので、絶対に混合してはならない。

# 試験報告書

第0S25020130号

供試品又は  
試料の名称

ケージクリーナー

表記事項

—

試験項目

皮膚一次刺激性試験

## 要約

ケージクリーナー20%水溶液を家兔の皮膚に塗布し、皮膚組織に対する一次刺激性を調査した結果、供試品の皮膚一次刺激性は陰性と認められた。

## 1. 材料及び方法

### 1 供試品

ケージクリーナー（青色の液体）20gを蒸留水で希釈して100mlとし（検体20%水溶液）、これを検液とした。

### 2 供用家兔

体重2.54~2.88kgの日本白色種雄家兔6匹の背面を剃毛し、約1週間放置した後供用した。

### 3 供試品塗布方法

供用家兔1匹につき、4×4cmの塗布面を背柱の両側に各1ヶ所設定し、一方には注射針を用いて真皮に障害を与えない程度のすり傷を井桁状に作り、他の一方は無処理のままとし、供試品0.5mlを均一に塗布してリント布で被覆した。

塗布後4時間でリント布を剥離し、塗布面を温湯で清拭した後、第1回目の皮膚刺激を観察し、以後そのままの状態で放置し、24時間、48時間、72時間及び96時間後の刺激反応を観察した。

財団法人 日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号  
支所：大阪府吹田市豊津町3番1号

#### 4 皮膚刺激性の判定及び評価

各調査時における皮膚刺激反応の程度を肉眼的に観察し、表1にしたがって点数で判定した。すり傷皮膚及び無処理皮膚に認められた4、24及び48時間後における紅斑及び浮腫形成の判定点数の総和を6で割って個体の一次刺激率とし、6匹の平均値を表2に示した基準に照合して供試品の皮膚刺激反応の程度を評価した。

表1 判定基準

紅斑および痂皮形成		浮腫形成	
なし	0	なし	0
非常にかすかな紅斑	1	非常にかすかな浮腫	1
はっきりした紅斑	2	かすかな浮腫	2
中等度の紅斑	3	中等度の浮腫	3
わずかに痂皮あり		重い浮腫	4
強い紅斑	4		

表2 判定の評価の基準

- 0～2 弱い皮膚刺激反応
- 2～5 中等度の皮膚刺激反応
- 6以上 強い皮膚刺激反応

#### 2. 試験結果

供試品の皮膚一次刺激反応は表3に示したとおりであって、供用家兎6匹全てのすり傷皮膚及び無処理皮膚共に、いずれの調査時においても紅斑、浮腫その他の異常がみられず一次刺激率は0となった。したがって、供試品は皮膚一次刺激性を有しないものと評価した。

表3 皮膚一次刺激性試験結果

兎 No	皮膚	反応時間	紅 斑			浮 腫			評 点
			4	24	48	4	24	48	
1	無処理		0	0	0	0	0	0	0
		すり傷	0	0	0	0	0	0	
2	無処理		0	0	0	0	0	0	0
		すり傷	0	0	0	0	0	0	
3	無処理		0	0	0	0	0	0	0
		すり傷	0	0	0	0	0	0	
4	無処理		0	0	0	0	0	0	0
		すり傷	0	0	0	0	0	0	
5	無処理		0	0	0	0	0	0	0
		すり傷	0	0	0	0	0	0	
6	無処理		0	0	0	0	0	0	0
		すり傷	0	0	0	0	0	0	
平 均								0	

以上

# 試験報告書

第OS24120278号

供試品又は  
試料の名称

ケージクリーナー

表記事項

Lot No. 60710

試験項目

マウスによる急性毒性試験

1. 検体の名称……ケージクリーナー (Lot No. 60710)  
(淡青色透明の液体、比重1.13、pH1.1)
2. 投与経路……経口
3. 試験動物……マウス、ddY-N系雄及び雌  
週令及び開始体重：約5週令、雄20~24g、雌20~22g
4. 室温……22±2℃
5. 検液の調製方法……検体20gを蒸留水に希釈して100mlとし(検体20%水溶液)、  
これを検液とした。
6. 検液の投与方法等
  - (1) 投与方法……胃ゾンデにより1回、強制経口投与した。
  - (2) LD<sub>50</sub>値の計算方法……プロビット法
  - (3) 検体の投与濃度比……1:1.1
  - (4) 1試験群当たりの動物数……雄、雌各10匹

財団法人 日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号

支所：大阪府吹田市豊津町3番1号

## 7. 試験結果

性	試験群No	投与量 (mg/kg)	経時的死亡率							死亡率 (%)	LD <sub>50</sub> 値 (mg/kg)	
			5時間	15	1日	2	3	4	5			6
雄	1	6,772	0/10	0/10	0/10	—	—	—	—	0/10	0	8,188 (95%信頼限界 7,691~8,718)
	2	7,449	2/10	3/10	3/10	—	—	—	—	3/10	30	
	3	8,194	2/10	4/10	4/10	—	—	—	—	4/10	40	
	4	9,014	6/10	8/10	8/10	—	—	—	—	8/10	80	
	5	9,915	8/10	9/10	9/10	—	—	—	—	9/10	90	
	6	10,906	10/10	10/10	10/10	—	—	—	—	10/10	100	
雌	1	6,772	0/10	0/10	0/10	—	—	—	—	0/10	0	8,506 (95%信頼限界 8,054~8,983)
	2	7,449	1/10	1/10	1/10	—	—	—	—	1/10	10	
	3	8,194	4/10	5/10	5/10	—	—	—	—	5/10	50	
	4	9,014	6/10	6/10	6/10	—	—	—	—	6/10	60	
	5	9,915	9/10	9/10	9/10	—	—	—	—	9/10	90	
	6	10,906	10/10	10/10	10/10	—	—	—	—	10/10	100	

## 8. 中毒症状

雄、雌共いずれの投与群においても投与後10~30分で活力の低下がみられ、伏臥姿勢を示した。死亡例は投与後30分頃より発生し、生存例においてもほぼ正常に復するまでに15~24時間を要した。

## 9. 剖検所見

投与後1時間以内の死亡例においては胃~小腸に検液が充満し、胃壁及び腸管壁は乳白色となると共に、投与後1~5時間の死亡例では肝臓内臓面の胃と接する部分も乳白色となり、それ以降の死亡例では胃~小腸内に出血が認められたが、いずれも他の臓器に異常がみられなかった。生存例では異常がみられなかった。

## 10. 考察


あらかじめ実施した予備試験において検体をそのまま、又は高濃度の稀釈液を調製して投与した場合には全例が死亡してLD<sub>50</sub>値を求められなかった。そこでマウスに対して1回経口投与できる最高量(60ml/kg)付近において100%致死量となつたと思われた検体20%稀釈液を用いて試験を行ったところ検体の経口LD<sub>50</sub>値は雄8,188mg/kg、雌8,506mg/kgとなつた。

なお、本試験の死亡例において認められた胃壁及び腸管壁の乳白色化は検体のpHの影響によるものと思われる。

以上

特殊有機酸配合  
ケージクリーナー

10kg ポリ容器入  
20kg ロンテナー容器入

ヨウ素系 殺菌剤	イセフォール	実験動物施設の壁・床・足洗い場・手洗い場等の環境殺菌剤。
両性 界面活性剤	<small>医薬品</small> キンサールG-10液	実験動物器具・器材・施設等の壁・床の殺菌・消毒に。
	キンサール	実験動物施設の壁・床等の抗菌・洗浄に。
カチオン系 除菌洗浄剤	キンサールGL	実験動物器具・器材等の抗菌・洗浄に。
超音波洗浄機 兼浸漬用 除菌洗浄剤	CLEAN  SR	実験動物器具・器材の除菌・洗浄に。 超音波洗浄機兼浸漬用洗浄剤。
手 指 消 毒 液	<small>医薬部外品</small> ニュー ハンドアウェイ	イルガサンDP-300を配合した手指殺菌・消毒液です。

※サンプル・カタログ等

ご希望の方はご遠慮なくお申し付けください。

CLEAN  99

クリーンケミカル 株式会社

本 社 大阪府茨木市横江1丁目12番14号  
TEL 072-632-2253 (代)  
FAX 072-632-2263



代理店